



心理職の一つである「産業カウンセラー」とは

経営コラム Management Column

人の力の最大化で、経営に安定性を



産業カウンセラー 活用のメリット

TOKYO ALLIANCE ADVISORY

産業カウンセラーは、働く人々と組織が抱える問題を心理的手法によって解決に導く専門家です。

近年の複雑化する職場環境や多様化する働き方の中で、**従業員のメンタルヘルスケアや組織の健全な発展を支援する産業カウンセラーの役割は、ますます重要性を増しています。**

産業カウンセラーとは？

産業カウンセラーは、一般社団法人日本産業カウンセラー協会（JAICO）が1971年から認定を開始した民間資格で、現在では6万人以上が取得しています。「働く人（個人）と職場（組織）を支援する」ことを目的とし、心理学的手法を用いて、**働く人たちが自らの力で問題を解決できるよう支援する**役割を担っています。

産業カウンセラー資格の取得難易度

産業カウンセラー資格を取得するには、受験資格を得るため日本産業カウンセラー協会が実施する養成講座を修了する必要があります。この講座では、**理論講義36時間、面接実習104時間、在宅研修40時間相当など、合計180時間以上の学習**が求められます。受験では、学科試験（筆記）と実技試験（ロールプレイング・口述）を受験し、両方で合格基準の6割以上を達成しなければなりません。

心理資格における産業カウンセラーの位置づけ

心理関連資格には、公認心理師、臨床心理士、キャリアコンサルタント、産業カウンセラーなどがあります。公認心理師および臨床心理士は医療・教育分野での活動が中心となり、**企業組織や職場で活躍するのは産業カウンセラー**やキャリアコンサルタントです。このうち**心理的支援全般を行うのは産業カウンセラー**であり、キャリアコンサルタントはキャリア形成に焦点を絞ります。

資格名	種類	主な活動領域	特徴
公認心理師	国家資格	医療・教育・福祉	心理検査や治療に従事
臨床心理士	民間資格	医療・教育	臨床心理学に基づく支援
産業カウンセラー	民間資格	職場・組織	メンタルヘルスや人間関係改善
キャリアコンサルタント	国家資格	キャリア形成支援	転職や就職相談に特化

コンサルティングとカウンセリングの違い

カウンセリングとコンサルティングは、どちらも「相談」を基盤とする支援活動ですが、その目的やアプローチには明確な違いがあります。**相談者自身で問題提起や解決などを能動的に行うためのサポートは「カウンセリング」を、積極的な提案を必要とするときは「コンサルティング」と**のように切り替えてこそ、優れた対応者であるといえます。

■カウンセリングとは（内面からの気づきを促す）

クライアントの心理的な問題や感情面の課題に焦点を当てます。カウンセラーはクライアントの話を傾聴し、共感的に寄り添いながら、クライアント自身が内面的な気づきを得て問題を解決するよう支援します。このプロセスでは、過去の経験や感情を深く掘り下げることが多く、心の安定や自己成長を目指すことが目的です。

■コンサルティングとは（外部から解決策を提供する）

問題解決や目標達成に向け、実践的なアドバイスを提供することを目的とします。コンサルタントは専門知識やデータ分析を駆使し、経営課題や組織改革などの課題に対して効率的で現実的な解決策を提示します。クライアント自身が答えを見つけるというよりも、外部からの専門的な提案が重視されます。

当社がカウンセリングを重視する2つの理由

現代のビジネス環境では、経済的・法的な課題だけでなく、心理的な問題が複雑に絡み合うケースが増えています。特に**ファミリービジネスや不動産トラブル**といった分野では、**感情や家族関係が深く影響し**、問題解決を難しくしています。当社は、こうした心理的要因に着目し、カウンセリングを活用することで、クライアントの課題を根本から解決する支援を行っています。

ファミリービジネスは心理的な問題が大きい

ファミリービジネスは経済的な視点や法的な視点だけでなく、心理的な視点が重要です。親子間の**価値観の違い**や世代間の**葛藤**、**後継者問題**など、**感情や深層心理が絡む**ため、単なる経営戦略では解決できない課題が多く存在します。こうした問題には、**心理的な支援を通じて家族間の調和を図る**ことが不可欠です。

不動産のトラブルは家族の問題であることが多い

土地や建物に関する問題にもアプローチする当社では、問題が家族間の感情的な対立の現れであることにも注目しています。こうしたトラブルは法律や経済面だけで解決することは難しく、**家族間の信頼回復や心理的なサポートが必要**です。当社では、不動産問題における心理的要因にもアプローチし、根本的な解決を目指しています。

企業にとっての産業カウンセラー活用のメリット

産業カウンセラーは、従業員のメンタルヘルスケアを通じて、企業全体の生産性や職場環境の改善に寄与します。**従業員一人ひとりの心理的安定を支援することで、モチベーション向上や定着率改善**など、経営面での具体的なメリットをもたらします。

メンタルヘルスの向上

従業員のメンタルヘルスは、企業にとって単なる「福利厚生の問題」ではなく、生産性や安全性にも関わる重要な経営課題です。産業カウンセラーの支援によって、従業員のメンタルヘルス不調を予防し、**早期発見・早期対応につなげることが**できます。

モチベーション・パフォーマンスの向上

経営環境が急速に変化する現代では、従業員の心理的な安定のみならず、モチベーションの維持もビジネスの持続的な成長に不可欠だと言えます。産業カウンセラーは、人材の特性理解を前提に適切な配置や組織づくりに参加することで、各人のパフォーマンス最大化を実現することにも貢献

従業員定着率の向上

人材の採用・育成にかかるコストを考えると、既存の人材が長く活躍できる環境を整えることは、企業にとって大きな経済的メリットがあります。産業カウンセラーによる従業員のメンタルヘルスとモチベーションのケアは、職場に対する満足度を高め、定着率向上につなげることができます。

M&A・組織変革における産業カウンセラーの役割

M&Aや組織変革は、企業にとって成長の機会である一方、従業員に心理的な負担をもたらすことが少なくありません。**産業カウンセラーは、変化に伴う不安への対応やリーダーシップ開発、組織診断**などを通じて、**変革プロセスを円滑に進める**ための重要な役割を果たします。

変化に伴う不安への対応

M&Aや事業再編などの大きな組織変革は、従業員にストレスを与えがちです。産業カウンセラーは、このような**変化に伴う従業員の心理的課題に対応し、スムーズな移行をサポート**することができます。とくに、異なる企業文化の統合や新しい役割への適応など、**M&A後の統合プロセスにおける心理的サポートは、統合の成功に大きく貢献**します。

リーダーシップ開発とチーム構築

組織変革を成功させるためには、変革を主導するリーダーの育成と効果的なチーム構築が不可欠です。産業カウンセラーは、**リーダーの自己理解や対人関係スキルの向上を支援し**、効果的なリーダーシップの発揮を支援します。また、多様なバックグラウンドを持つメンバーが協働するチーム構築においては、産業カウンセラーの**ファシリテーションスキル(心理的ハードルを超えて合意形成を促すスキル)**を活用できます。

組織診断と改善提案

企業文化の融合や新しい価値観の醸成など、目に見えない組織の側面に関する支援は、M&Aの成功に大きく寄与します。この点、**組織の健全性を評価し、改善に向けた提案を行える**のも産業カウンセラー資格保有者の強みです。従業員や役員の声を丁寧に聴き、財務や法務の側面だけでは**見落としがちな「人」の要素を適切に管理**することは、間接的に企業価値を向上させる効果をもたらすでしょう。

産業カウンセラーは、経営者や従業員、会社のオーナーなどの心理的支援を通じ、個人の成長や組織全体の健全性向上に寄与する重要な存在となり得ます。

組織および資産構成の変化や生産性向上が求められるシーンでは、その専門性が大きな価値を發揮します。当社代表は、このたび産業カウンセラー資格を取得し、経営コンサルティングやM&A支援に心理的アプローチを加えることで、より包括的な支援を提供できる体制を整えました。これからも「人」と「組織」の双方に寄り添いながら、クライアントの課題解決と成長を全力でサポートしてまいります。ぜひお気軽にご相談ください。